

令和8年度当初予算 補助金評価制度による補助金評価・見直し【概要】

- 本市では、「補助金の基本的な考え方（補助金ガイドライン）」に位置付けているとおり、補助金毎に要綱を定め事業終期（3年程度を目安）を設定した上で、評価・見直しを実施しています。
- 令和7年度末で終期を迎える補助金について、市民ニーズ等の現状に沿った補助金内容への見直し・転換（※）等を行い、下記表（概要）のとおり、令和8年度当初予算へ反映しました。

（※）生み出された効果額をもとに、新たな事業や補助制度等を創設する等を実施しており、多様化・複雑化する地域課題の解決に取り組んでいきます。

	評価・見直しの考え方	件数	主な補助金の名称	効果額 (一般財源ベース)
継続	市民や時代のニーズ、予算の規模、制度内容等のチェックを行い、引き続き制度を同じ形で継続する必要があると評価し、継続したもの	27件	・救急医療体制充実化支援事業補助金 ・大学・地域連携推進事業補助金 等	0千円
見直し	自立等を促す目的等から、補助率を変更とする見直しがあると評価し、見直したもの	41件	・中心市街地空き家・空き店舗調査事業補助金 ・まちなか魅力発見事業 等	1,330千円
	効率化を図る目的や事業趣旨等の観点から、事業の実施方法や執行の方法等について、見直しが必要と評価し、見直したもの		・UIターンによる人材確保推進事業補助金 ・職業訓練生養成奨励金 等	7,023千円
	過去の補助件数実績や補助事業の決算状況等を踏まえ、適切な予算額・補助額に見直す必要があると評価し、見直したもの		・園芸作物拡大支援事業 ・学校給食会運営補助金 等	3,889千円
廃止	事業が終了したものや、これまでの実績から市民のニーズがなく廃止と評価し、廃止したもの (数年かけて廃止していくことが妥当と評価したものを含む)	17件	・移住サポートレンタカー利用補助金 ・シェアオフィス活用促進事業補助金 等	1,991千円
合計				14,233千円